

取扱説明書

フルハイビジョン液晶ディスプレイ 業務用

品番 **TH-49LFV8J** (49V 型)
TH-55LFV8J (55V 型)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

HDMI

DPQX1241ZA

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意	3
使用上のお願い	8
付属品の確認	10
付属品	10
リモコンの電池の入れかた	10
別売オプション	11
VESA 金具の取り付け	11
移動するときの注意	12
ケンジントンセキュリティスロット	12
各部の基本説明	13
ディスプレイ本体	13
映像機器の接続	15
リモコン	17
接続	19
電源コードの接続と固定	19
接続ケーブルの固定	19
接続の前に	20
PC 入力端子の接続	20
ビデオ入力の接続	21
コンポーネント入力の接続	22
音声出力の接続	22
スピーカーの接続	22
HDMI 1・HDMI 2 端子の接続例	23
DVI-D 入力／DVI-I 出力の接続	23
DisplayPort 入力／出力の接続	24
シリアル端子の接続	25
USB 端子の接続例	27
デジチーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する	28

基本の操作	29
入力信号を切り換える	29
映像に合わせた拡大画面にする	29
画質設定を切り換える	29
音質設定を切り換える	29
USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する	29
機能設定	32
ネットワーク機能を使う	38
接続に必要なパソコン環境	38
ネットワーク接続例	38
パソコンの操作	38
PLink プロトコル	38
予兆監視ソフトウェアについて	40
複数台監視制御ソフトウェアについて	40
USB デバイス対応ファイル	41
入力モード	43
修理を依頼される前に	44
仕様	46
商標について	48

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。

警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がある
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、コンセントから電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■ 故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■ 異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。

警告

電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど)



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

警告

■ 設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 壁への取り付けには VESA 規格準拠の壁掛け金具を必ずご使用ください。

VESA 400 × 400

落下防止のため、液晶ディスプレイと壁掛け金具の重量に十分耐える様、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。

- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

■ 付属の単 4 乾電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

接触
禁止

■ 上に水などの液体の入った容器を置かないでください

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください



火災・感電の原因となります。

水場使用
禁止

■ 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

■ 裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください



分解
禁止



感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあげないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

注意

- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- あお向けにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
(☞ 9 ページ)

- 上に物を置かないでください



倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。
● 特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源プラグや機器の接続線を外してください。



コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を入れるときには、極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。挿入指示通り正しく入れてください。
(☞ 10 ページ)

- 被覆のはがれた電池は使わないでください（電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください）



取り扱いを誤ると、電池のショートにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長時間使わないときは、リモコンから電池を取り出してください



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 強い力や衝撃を加えないでください



液晶パネルが割れてけがの原因となることがあります。

- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

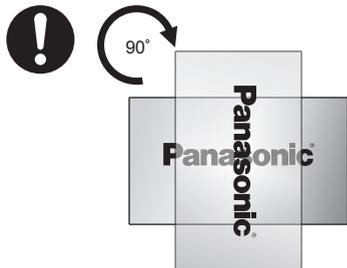
- 開梱や持ち運びは 2 人以上で行ってください



落下してけがの原因になることがあります。

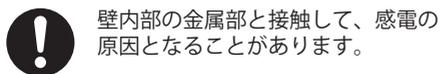
注意

- 本機を縦置きに設置されるときは、必ず電源ランプを下側にして設置してください

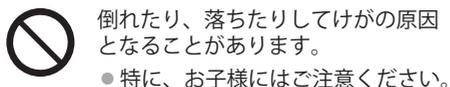


内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

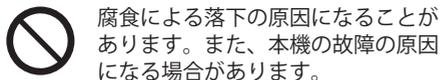
- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



- 接続ケーブルを引っぱったり、ひっかけたりしないでください



- 塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください



お手入れについて

- 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

使用上のお願い

■ 開梱されるとき

- 本製品には、本体と付属品が同梱されています。
- すべての付属品がある事を確認してください。

■ 設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

屋外に設置しないでください。

- 本機は室内でご使用ください。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさせて設置してください。

機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- VESA 規格準拠の設置金具をご使用ください。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受けます。

海拔 2800 m 以上の場所に設置しないでください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- キャビネットの変形や故障の原因となります。

本機の使用環境温度は、海拔 1400 m 未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔 1400 m 以上～2800 m 未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。

設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機を移動されるとき。

- 液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

液晶パネルをつかむようなことはしないでください。

- 液晶パネルを強く押ししたり、先のとがった物で押ししたりしないでください。液晶パネルに強い力が加わ

ると、画面表示にムラが生じ、故障の原因になります。直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。

- 直射日光が当たると液晶パネルに悪影響を与える場合があります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所の近くには設置しないでください。

- 腐食により部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

設置時の空間距離について

- このディスプレイの最外周は、上下・左右 10 cm 以上の間隔をおいて据えつけてください。後面は 5 cm 以上の間隔をおいて据えつけてください。

VESA 規格準拠の壁掛け金具を使用する場合
使用するねじについて

取り付けピッチ	取り付け穴の深さ	ねじ (本数)
400mm × 400mm	16.3mm	M6 (4)

● マルチ画面設置について

マルチ画面設置をする場合、本体内部の温度変化により液晶ディスプレイが膨張して故障の原因になる場合があります。これを考慮して、設置時のディスプレイ間は 0.5mm 以上の隙間をあけて設置してください

■ ご使用になるとき

本機は残像が発生することがあります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがあります。残像は通常の動画をしばらく表示すると解消されます。

画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

使用される温度・湿度条件によっては明るさのムラが発生することがありますが、故障ではありません。

- 連続通電でムラは消えていきます。消えない場合は、販売店にご相談ください。

液晶パネル表面について

- 液晶パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。傷や汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。

適度の音量で隣近所への配慮を

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

液晶ディスプレイ本体の一部が熱くなることがあります。

- 前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

長時間で使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体の電源ボタンで電源を切った場合は約 0.3 W の電力を消費します。

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがあります。故障ではありません。

■ 有線 LAN について

静電気が多く発生するような場所でのディスプレイの使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でディスプレイを使用する場合、有線 LAN での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、有線 LAN 接続をしてください。
- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN 端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

■ セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。

- PJLink 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。(39 ページ参照)
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。(36 ページ参照)

お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

- ひどい汚れや液晶パネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。



お知らせ

- 液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

化学ぞうきんのご使用について

- 液晶パネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際は、その注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの変質や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



■ 廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

付属品の確認

付属品

付属品が入っていることをご確認ください。
< >は個数です。

電源コード< 1 >
(約 2m)

● 1JP155AF1J

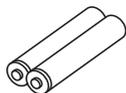


リモコン< 1 >

● DPVF1663ZA



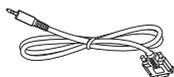
単 4 形乾電池< 2 >
(リモコン用)



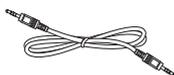
クランパー< 3 >



RS232 変換ケーブル
< 1 >



RS232 デイジーチェーン
ケーブル< 1 >



IR デイジーチェーン
ケーブル< 1 >



外部 IR 受信機< 1 >



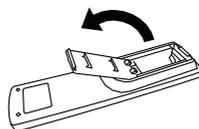
DisplayPort ケーブル
< 1 >



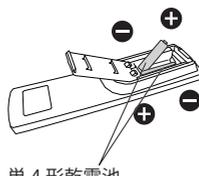
お願い

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。
(前記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

リモコンの電池の入れかた



ふたをあげる



乾電池を挿入します。極性
(+および-) に注意して
ください。

単 4 形乾電池

お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

次の点にご注意ください。

1. 乾電池は、常に 2 本同時に交換してください。交換するときは、必ず新しい乾電池を入れてください。
2. 使用済み電池と新しい電池を組み合わせないでください。
3. 異なる種類の電池を組み合わせないでください (例えばマンガン電池とアルカリ電池など)。
4. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。
5. ディスプレイの操作がしにくい場合、または操作できなくなった場合は、乾電池を交換してください。
6. 乾電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
7. 乾電池を直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

別売オプション

設置金具：

- ・ TY-VK49LV2 (TH-49LFV8)
- ・ TY-VK55LV1、TY-VK55LV2 (TH-55LFV8)

カバーフレームキット：

- ・ TY-CF55VW50 (TH-55LFV8)

予兆監視ソフトウェア：

- ・ ET-SWA100 シリーズ *1

ビデオウォールマネージャー：

- ・ TY-VUK10 *2

※ 1 ライセンスの種類によって品番末尾の記号が異なります。

※ 2 Ver1.7 以降の対応となります。

お願い

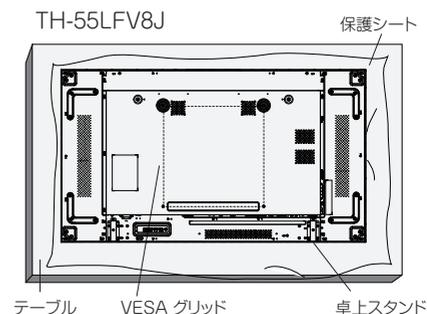
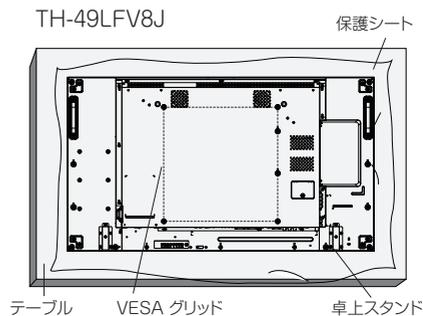
- 設置金具を取り付けるときは、設置金具に同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
- 設置は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 「設置金具」の設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 設置時、衝撃などによる「パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 別売オプションの品番は、予告なく変更する場合があります。

VESA 金具の取り付け

VESA 取り付け金具（市販品）を使用して本製品を取り付ける場合：

お願い

- 取り付けは専門業者にご依頼ください。

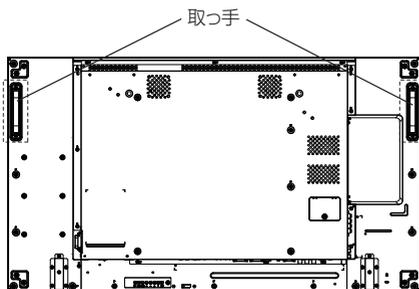


1. 梱包時に本製品を覆っていた保護シートを平らなテーブル上に敷き、画面表面に傷が付かないように画面表面を下にします。
2. 本製品を取り付けるためのすべての付属品があることを確認してください。
3. 取り付けキットに同梱の説明書に従って取り付けください。正しい取り付け手順に従わない場合、本機の損傷、またはユーザーや取り付け作業者のけがにつながります。不適切な取り付けが原因の破損は、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

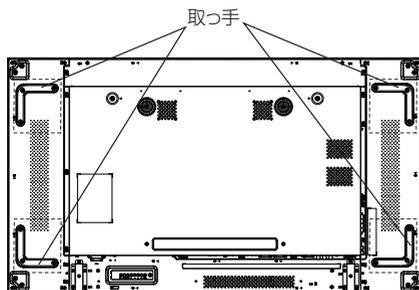
移動するときの注意

本機には、持ち運びのための取っ手があります。移動する際には取っ手を持ってください。

TH-49LFV8J



TH-55LFV8J



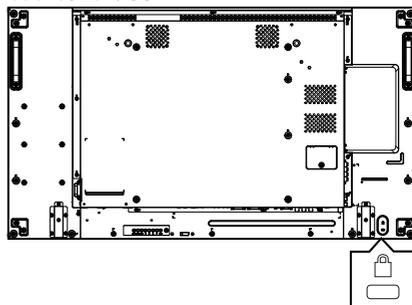
お願い

- 取っ手以外の場所を持たないでください。
- 持ち運びは2人以上で行ってください。
落下してけがの原因となることがあります。
- 移動時は液晶パネル面を立てた状態で持って移動してください。
液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル変形、内部破損の原因となることがあります。
- 本製品の上下左右のフレームやコーナー部、また液晶パネル前面を手で持ったり、ぶつけたりしないでください。
液晶パネルの故障の原因になります。
またパネルが割れてけがの原因となることがあります。

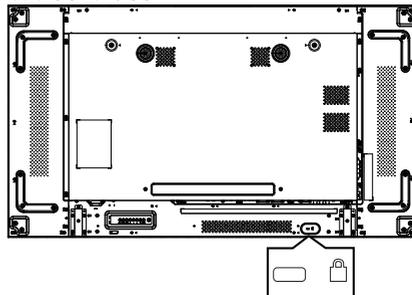
ケンジントンセキュリティスロット

本機のセキュリティスロットは、ケンジントンセキュリティスロットと互換性があります。

TH-49LFV8J



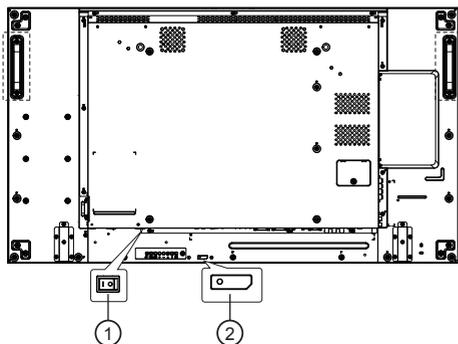
TH-55LFV8J



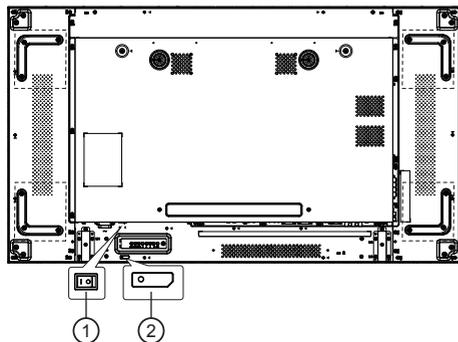
各部の基本説明

ディスプレイ本体

TH-49LFV8J



TH-55LFV8J



1. 主電源スイッチ (○/|)

主電源を「切 (○)」 「入 (|)」 します。

- 主電源スイッチの切 / 入は電源プラグのコンセントからの抜き差しと同様です。主電源を「入 (|)」にしてから、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を「切」「入」してください。

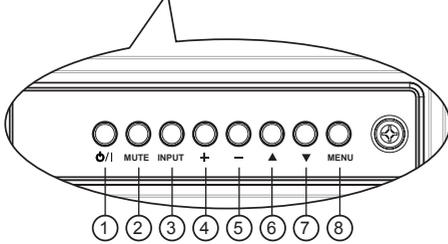
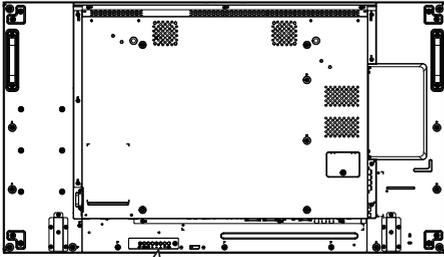
2. 電源ランプ / リモコン受信部

- ディスプレイ本体の電源「入」のとき (主電源スイッチ「入 (|)」)
 - 映像表示状態：緑色点灯
 - リモコンまたは本体の電源ボタンで「切」(スタンバイ)：
 - {一般設定}{エコモード}が、「ローパワースタンバイ」のとき：
赤色点灯
 - {一般設定}{エコモード}が、「ノーマル」のとき：
緑色 / 赤色点灯 (49LFV8)
橙色点灯 (55LFV8)
- ディスプレイ本体の電源「切」のとき (主電源スイッチ「切 (○)」)：消灯

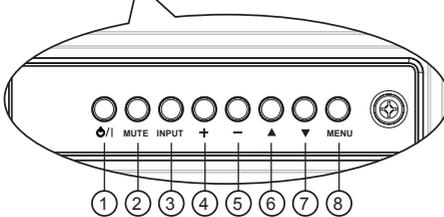
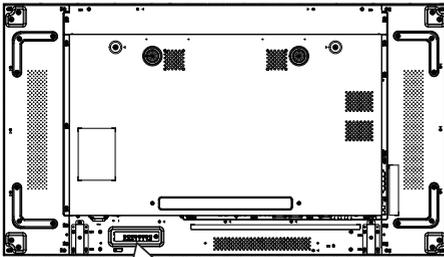
お知らせ

- ディスプレイ本体の電源「切」で電源ランプが消灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。
- 電源ランプが橙色の場合は赤色の場合に比べて、スタンバイ状態の電力が一般に増加します。

TH-49LFV8J



TH-55LFV8J



①電源ボタン

ディスプレイ本体の主電源スイッチが「入(|)」のとき、電源を入れたり、スタンバイにするとときに使用します。

②ミュートボタン

音声の消音入 / 切を切り換えます。

③ INPUT ボタン

入力ソースを選択します。

メニュー表示時は、「ENTER」になります。

④+ボタン

メニュー表示時は、設定の切り換えやレベルを調整します。

メニュー非表示時は、音量を調整します。

⑤-ボタン

メニュー表示時は、設定の切り換えやレベルを調整します。

メニュー非表示時は、音量を調整します。

⑥▲ボタン

メニュー画面で設定項目を選択します。

⑦▼ボタン

メニュー画面で設定項目を選択します。

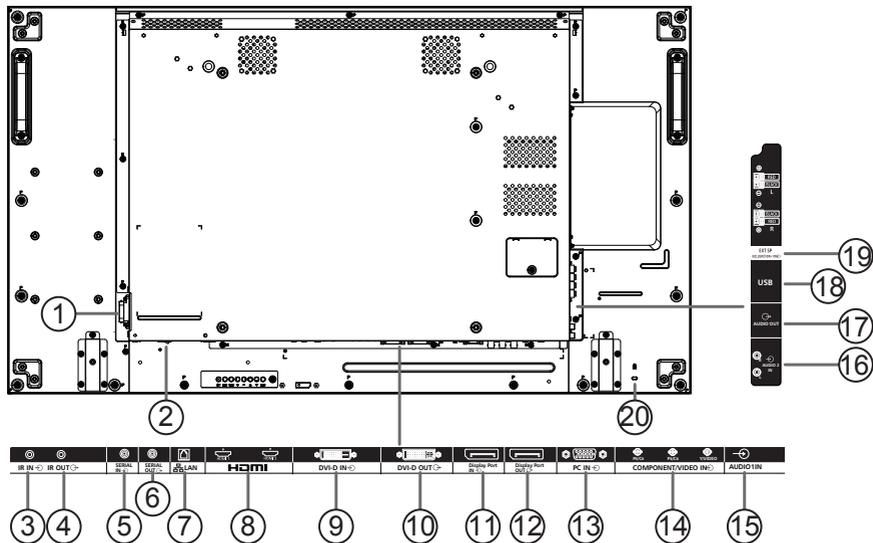
⑧ MENU ボタン

メニュー表示時は、1つ前の画面に戻ります。

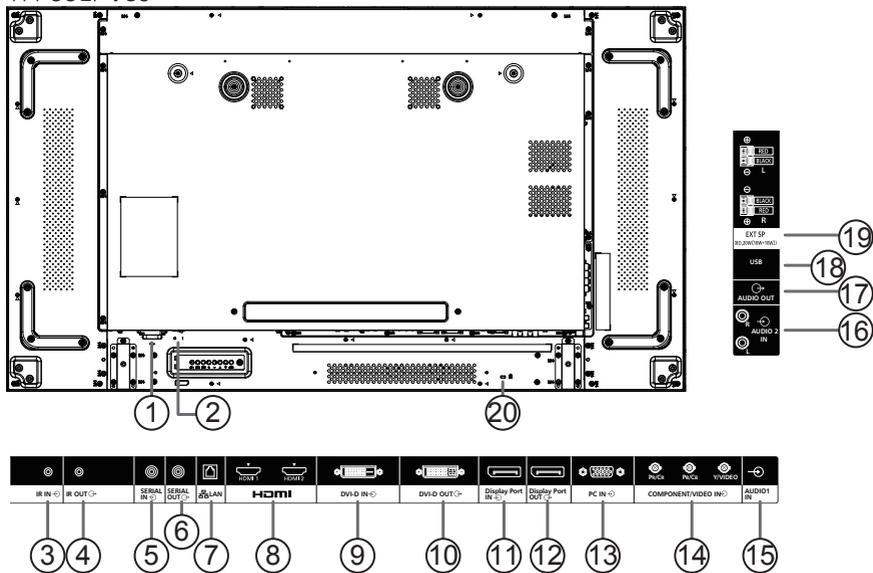
メニュー非表示時は、メニューを表示します。

映像機器の接続

TH-49LFV8J



TH-55LFV8J



①AC 入力

AC 電源入力

②主電源スイッチ

主電源を「切」「入」します。

③IR 入力／④ IR 出力

1 台のリモコンで複数台のディスプレイを操作するときに使用します。

また、IR IN 端子に付属の外部 IR 受信機を接続してリモコン信号を受けることができます。

但し、その時はディスプレイ本体のリモコン受信は受け付けなくなります。

⑤シリアル入力／⑥シリアル出力

パソコンに接続して本機を制御します。

⑦LAN 入力

ネットワークに接続して本機を制御します。

⑧HDMI1 / HDMI2 入力

HDMI ビデオ / 音声入力。

⑨DVI 入力

DVI-D ビデオ入力。

⑩DVI 出力 (VGA 出力)

DVI または VGA ビデオ出力。

⑪DisplayPort 入力 / ⑫ DisplayPort 出力

DisplayPort ビデオ入力 / 出力。

⑬PC 入力

パソコンの映像端子または映像機器を接続します。

⑭コンポーネント入力 (BNC)/ ビデオ入力 (BNC)

コンポーネント YPbPr, YCbCr/ ビデオ入力

⑮音声 1 入力

DVI 入力／ PC 入力共用の音声入力端子

⑯音声 2 入力

コンポーネント入力／ビデオ入力共用の音声入力端子

⑰音声出力

外部 AV 機器への音声出力。

⑱USB ポート

USB ストレージデバイスを接続します。

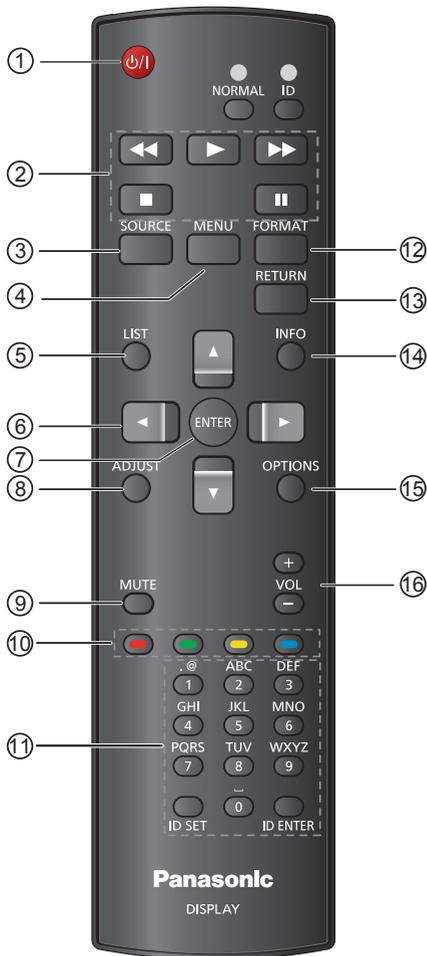
⑲スピーカー出力

外部スピーカーへの音声出力。

⑳ケンジントンセキュリティースロット

安全および盗難防止用に使用します。

リモコン



- ① **POWER ON / STANDBY ボタン**
ディスプレイ本体の電源を切（スタンバイ）/ 入にします。
- ② **PLAY ボタン**
USB メディアファイル再生時の操作に使用します。
- ③ **SOURCE ボタン**
ディスプレイに表示する入力を選択します。選択画面が表示され、「▲」「▼」ボタンで入力を選択した後「ENTER」ボタンを押します。

- ④ **MENU ボタン**
メニュー画面の表示 / 非表示
- ⑤ **LIST ボタン**
使用しません
- ⑥ **[▲][▼][◀][▶]** カーソルボタン
メニュー画面の操作に使用します。
- ⑦ **ENTER ボタン**
メニュー画面の操作に使用します。
- ⑧ **ADJUST ボタン**
ワンボタンでピクチャー、ピクチャーシフトおよびサウンドメニューなどが表示されます。
- お知らせ**
USB 入力選択時は表示されません。
- ⑨ **MUTE ボタン**
音量を一時的に消します。
- お知らせ**
無信号表示時は、画面表示されません。
- ⑩ **FUNCTION ボタン**
USB メディアファイル再生時の操作に使用します。（29 - 31 ページ）
- ⑪ **英数字 / 記号ボタン / ID ENTER ボタン**
・ネットワーク設定時の文字入力に使用します。
・ID 番号の入力に使用します。
- ⑫ **FORMAT ボタン**
画面モード（アスペクト）を選択します。
- ⑬ **RETURN ボタン**
1つ前のメニュー画面に戻します。
- ⑭ **INFORMATION ボタン**
ディスプレイ固有情報を表示します
- ⑮ **OPTIONS ボタン**
USB メディアファイル再生時の操作に使用します。
- ⑯ **VOL - / VOL + ボタン**
音量を調節します。
- お知らせ**
無信号表示時は、画面表示されません。

リモコン ID

複数台のディスプレイ本体を近接した場所で使用する場合、リモコンでディスプレイ本体を個別に操作することができます。



リモコンの ID 番号を設定する。

1. リモコンの「ID」ボタンを長押ししてください。赤 LED が 2 回点滅します。
2. 「ID SET」ボタンを 1 秒以上押ししてください。赤 LED が点灯します。

3. 操作したいディスプレイの ID 番号を入力する。
 - ID=1 の場合は、「0」「1」
ID=11 の場合は、「1」「1」
 - 10 秒以内に押さない場合は、ID 番号設定が解除されます。2. からやり直してください。
 - 数字以外のボタンを押してしまった場合は、赤 LED が一度消灯し
再び点灯してから 1 秒後に正しい数字を入力してください。
4. 「ID ENTER」ボタンを押してください。
赤 LED が 2 回点滅し、消灯します。

ID モードを解除する。

リモコンの「NORMAL」ボタンを長押ししてください
緑 LED が 2 回点滅します。

お願い

本機能を使用する場合は、事前にディスプレイ本体のモニター ID を設定してください。

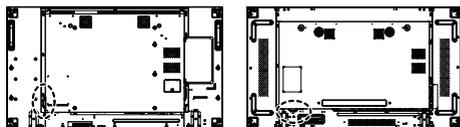
接続

電源コードの接続と固定

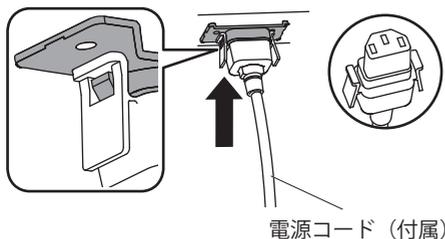
本体後面

TH-49LFV8J

TH-55LFV8J



電源コードの固定方法



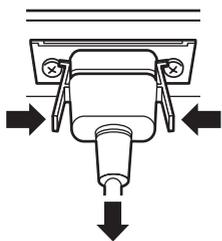
電源コード（付属）

コネクタを本体へ差し込む
カチッと音がするまで差し込んでください。

お願い

- 左右のロックが掛かっていることを確認してください。

電源コードを外すとき



コネクタ横のつまみを押しながら抜いてください

お願い

- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

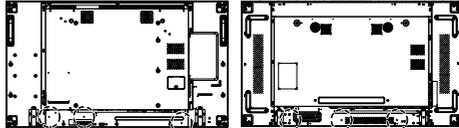
接続ケーブルの固定

お願い

- 本機はクランパーを3本付属しています。下の図のように3カ所の穴でケーブルを固定してください。クランパーをご購入される場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。（サービスマニュアル参照）

TH-49LFV8J

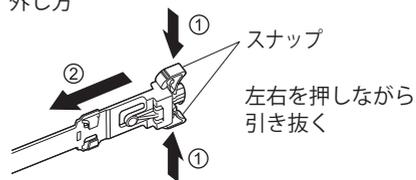
TH-55LFV8J



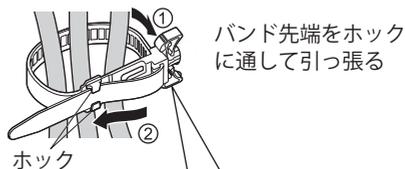
1. クランパーの取り付け



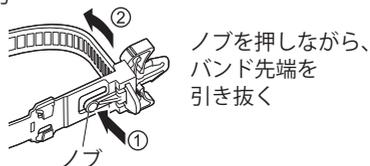
外し方



2. ケーブルを束ねる



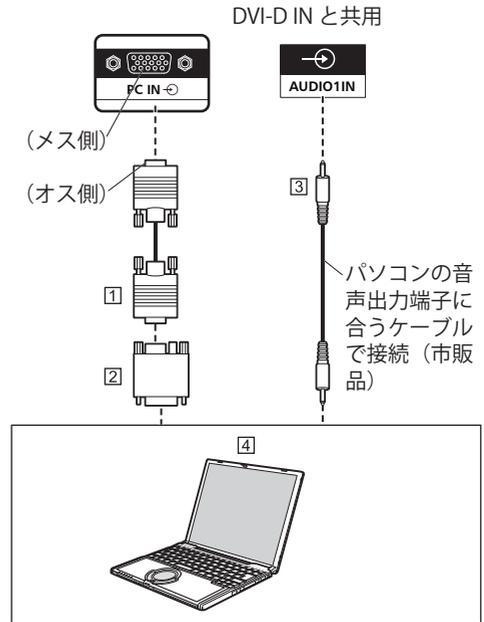
緩め方



接続の前に

- 各入力のカベルを接続する前に、接続する機器の取扱説明書をご確認して頂き正しい接続を行ってください。
- ケーブルを接続する際は、本機並びに接続機器の電源をオフに行ってください。
- ケーブルを接続する際は、以下の内容に注意して行ってください。
 - 本機または本機と接続する機器にケーブルを接続する前に、必ずそれぞれの機器に触れ、静電気を除去してから行ってください。
 - 接続するケーブルは、不必要に長いケーブルをご使用にならないでください。ノイズの影響を受けやすくなります。
 - 接続ケーブルのプラグ形状が大きい場合、隣接コネクタのケーブルと接触する恐れがあります。形状を確認の上、ご使用ください。
 - プラグカバー付きの LAN ケーブルは、背面カバーに接触し取り付けおよび取り外しが困難な場合があります。ご注意ください。
 - 映像信号または音声信号を切り換えた際、同期信号が乱れ一時的に映像または音声途切れる場合があります。
 - 設置の制約上、長いケーブルをご使用する場合は、ケーブル補償器をご使用をお勧めします。
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードセットは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

PC 入力端子の接続

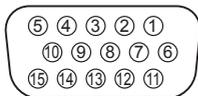


- ① ミニ D-sub15 ピンケーブル (市販品)
- ② 変換アダプター [必要なとき] (市販品)
- ③ ステレオミニプラグ (M3) ケーブル (市販品)
- ④ パソコン

お知らせ

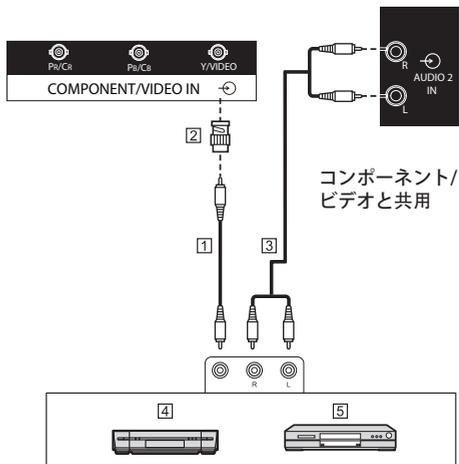
- 本機の対応入力信号の周波数は、水平：30kHz～110kHz、垂直：48Hz～120Hz です。
- 解像度は、アスペクト「4:3」で最大 1440x1080 ドット、「16:9」で最大 1920x1080 ドットの表示が可能です。上記のドットを超えるものは、簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。"
- PC 入力端子は、DDC2B 互換です。接続されているコンピュータが DDC2B 互換でない場合、接続時にコンピュータの設定変更を行う必要があります。
- 一部の PC で映像を表示できないものがあります。
- PC や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。
- 指定された周波数範囲を超えるまたは下回る PC 信号に対する水平および垂直周波数を設定しないでください。

パソコン入力端子（ミニ D-sub15 ピン）のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	R (P _R / C _R)
②	G (Y)
③	B (P _B / C _B)
④	NC (無接続)
⑤	GND (アース)
⑥	GND (アース)
⑦	GND (アース)
⑧	GND (アース)
⑨	+5 V DC
⑩	GND (アース)
⑪	NC (無接続)
⑫	SDA
⑬	HD / SYNC
⑭	VD
⑮	SCL

ビデオ入力の接続



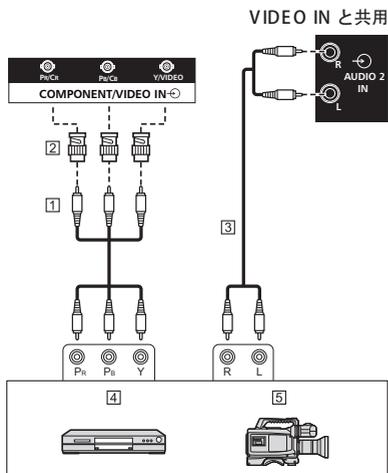
コンポーネント/
ビデオと共用

- ① 映像ピンケーブル（市販品）
- ② ピン -BNC 変換プラグ（市販品）
- ③ ステレオ音声ケーブル（市販品）
- ④ ビデオデッキ
- ⑤ DVD プレーヤー

お知らせ

- 映像機器や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。

コンポーネント入力の接続



- ① 映像ピンケーブル (市販品)
- ② ピン -BNC 変換プラグ (市販品)
- ③ ステレオ音声ケーブル (市販品)
- ④ DVD プレーヤー
- ⑤ RGB カメラ

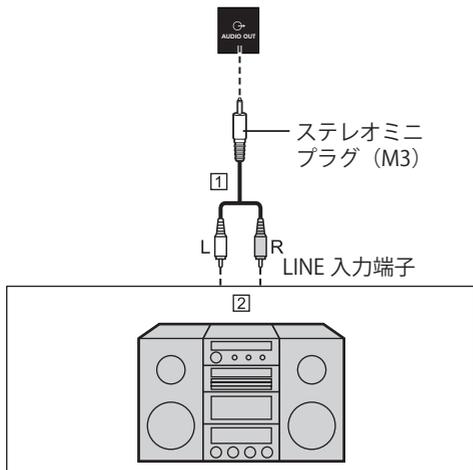
お知らせ

- 映像機器や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。

音声出力の接続

お知らせ

- 本端子は、外部音声機器用専用端子です。
- オーディオ機器や接続ケーブルは本機に付属していません。



- ① ステレオ音声ケーブル (市販品)

- ② オーディオ機器

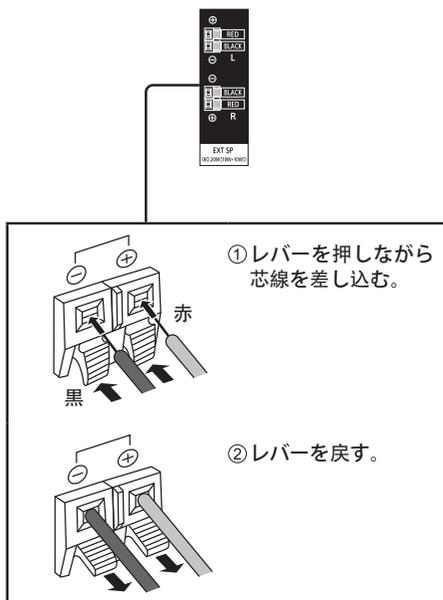
お知らせ

- 映像機器や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。

スピーカーの接続

お知らせ

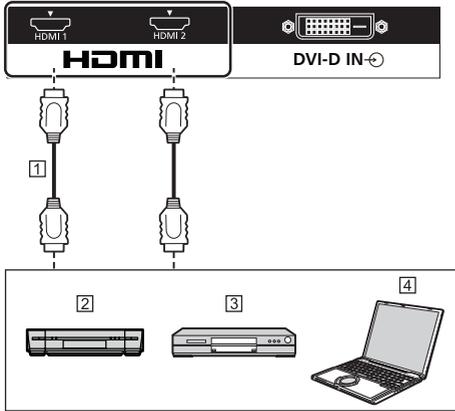
- 8 Ω、10Wのスピーカーをご使用ください。
- スピーカーや接続ケーブルは本機に付属していません。



HDMI 1・HDMI 2 端子の接続例

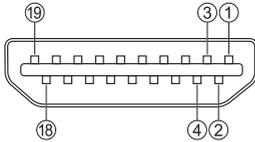
お知らせ

- 映像機器や HDMI ケーブルは本機に付属していません。
- 一部の HDMI 機器で映像を表示できない場合があります。
- 本機は、HDMI-CEC (HDMI Consumer Electronics Control) (VIERA LINK) には対応していません。



- ① HDMI ケーブル (市販品)
- ② ビデオデッキ
- ③ DVD プレーヤー
- ④ パソコン

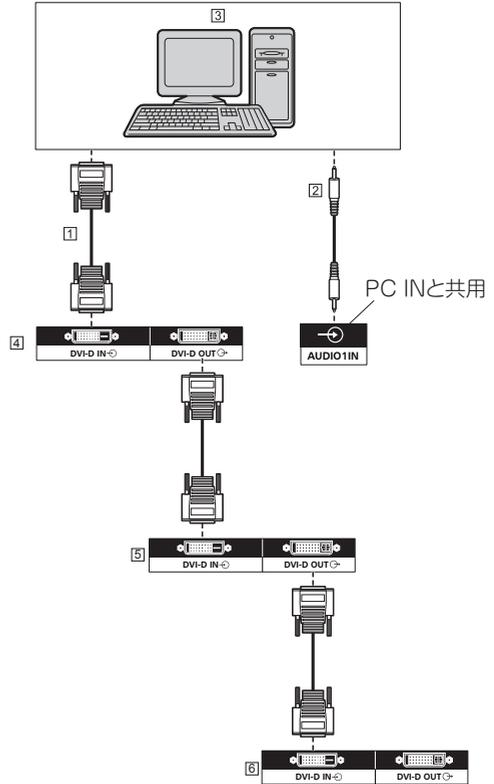
HDMI 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ 2 +
②	T.M.D.S データ 2 シールド
③	T.M.D.S データ 2 -
④	T.M.D.S データ 1 +
⑤	T.M.D.S データ 1 シールド
⑥	T.M.D.S データ 1 -
⑦	T.M.D.S データ 0 +
⑧	T.M.D.S データ 0 シールド
⑨	T.M.D.S データ 0 -
⑩	T.M.D.S クロック+
⑪	T.M.D.S クロックシールド
⑫	T.M.D.S クロック-
⑬	_____
⑭	_____

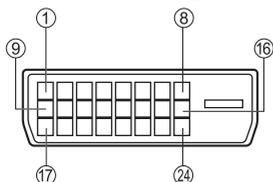
ピン No.	信号名
⑮	SCL
⑯	SDA
⑰	グラウンド
⑱	+5V 電源
⑲	ホットプラグ検出

DVI-D 入力 / DVI-I 出力の接続



- ① DVI-D ケーブル (5m 以内) (市販品)
- ② ステレオミニプラグ (M3) ケーブル (市販品)
- ③ DVI-D 出力付きパソコン
- ④ 1 番目のディスプレイ
- ⑤ 2 番目のディスプレイ
- ⑥ 3 番目のディスプレイ

DVI-D 入力端子のピン配列と信号名

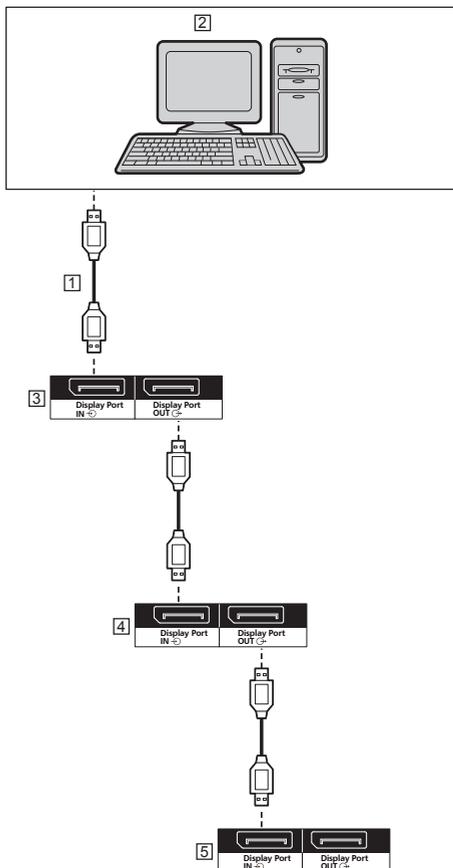


ピン No.	信号名
①	T.M.D.S. データ 2 -
②	T.M.D.S. データ 2 +
③	T.M.D.S. データ 2 シールド
④	_____
⑤	_____
⑥	DDC クロック
⑦	DDC データ
⑧	_____
⑨	T.M.D.S. データ 1 -
⑩	T.M.D.S. データ 1 +
⑪	T.M.D.S. データ 1 シールド
⑫	_____
⑬	_____
⑭	+5V 電源
⑮	GND (アース)
⑯	ホットプラグ検出
⑰	T.M.D.S. データ 0 -
⑱	T.M.D.S. データ 0 +
⑲	T.M.D.S. データ 0 シールド
⑳	_____
㉑	_____
㉒	T.M.D.S. クロック シールド
㉓	T.M.D.S. クロック +
㉔	T.M.D.S. クロック -

お知らせ

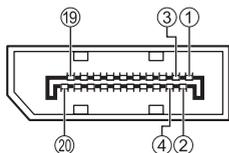
- 映像機器やケーブルは本機に付属していません。
- 端子はシングルリンクのみ対応しています。
- DVI 出力端子は、他のモデルのディスプレイには接続できません。

DisplayPort 入力／出力の接続



- ① DisplayPort ケーブル (付属品)
- ② DisplayPort 出力付きパソコン
- ③ 1 番目のディスプレイ
- ④ 2 番目のディスプレイ
- ⑤ 3 番目のディスプレイ

DisplayPort 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	メインリンクレーン 3 -
②	GND (アース)
③	メインリンクレーン 3 +
④	メインリンクレーン 2 -
⑤	GND (アース)
⑥	メインリンクレーン 2 +
⑦	メインリンクレーン 1 -
⑧	GND (アース)
⑨	メインリンクレーン 1 +
⑩	メインリンクレーン 0 -
⑪	GND (アース)
⑫	メインリンクレーン 0 +
⑬	コンフィグ 1
⑭	コンフィグ 2
⑮	補助チャンネル +
⑯	GND (アース)
⑰	補助チャンネル -
⑱	ホットプラグ検出
⑲	GND (アース)
⑳	+ 3.3V 電源出力

お知らせ

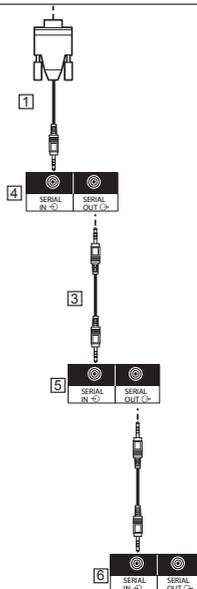
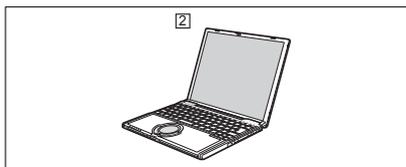
- 入力端子は、DP++ のみ対応しています。
- PC は本機に付属していません。

シリアル端子の接続

シリアル端子は RS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

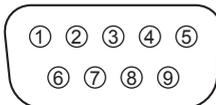
お知らせ

- RS232 変換ケーブルは、本機に付属しています。



- ① RS232 変換ケーブル (付属品)
- ② パソコン
- ③ RS232 デイジーチェーンケーブル (付属品)
- ④ 1 番目のディスプレイ
- ⑤ 2 番目のディスプレイ
- ⑥ 3 番目のディスプレイ

SERIAL (シリアル) 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	CD (NC)
②	RXD (受信データ)
③	TXD (送信データ)
④	DTR (未使用)
⑤	GND (アース)
⑥	DSR (未使用)
⑦	RTS
⑧	CTS] (本体側で短絡)
⑨	RI (NC)

※パソコン側の仕様で記載しています。

通信条件

信号レベル: RS-232C 準拠

同期方式: 調歩同期 (非同期)

ボーレート: 9600 bps

パリティ: なし

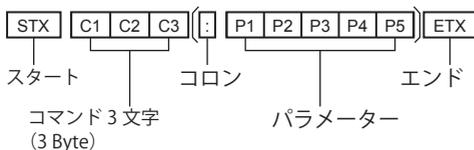
キャラクター長: 8 ビット

ストップビット: 1 ビット

フロー制御: なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	***	音量 000 ~ 060
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン

コマンド	パラメーター	制御内容
IMS	なし	入力切換 (トグル)
	HM1	HDMI 1 入力 (HDMI1)
	HM2	HDMI 2 入力 (HDMI2)
	DP1	DisplayPort IN 入力 (DisplayPort)
	DV1	DVI-D IN 入力 (DVI-D)
	PC1	PC IN 入力 (PC)
	VD1	VIDEO 入力 (VIDEO)
	YP1	COMPONENT 入力 (COMPONENT)
MDC	UD1	USB 入力 (USB)
	0	タイル 有効 オフ
	1	タイル 有効 オン

お願い

- 複数のコマンドを送信する場合は、コマンドの間隔を少なくとも 750ms 空けてください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロロン (:) は必要ありません。
- シリアル制御を使用する場合は、{エコモード} を「ノーマル」に設定してください。(⇒ 34 ページ参照)
- ビデオウォールマネージャーを使用する場合は、{エコモード} を「ノーマル」に設定してください。(⇒ 34 ページ参照)

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から "ER401" というコマンドがパソコン側に送信されます。
- スタンバイ状態 (リモコンまたはディスプレイの電源ボタンで電源「切」) 中は {エコモード} が「ノーマル」の場合 "PON" コマンド以外の動作は保証されません。{エコモード} が「ローパワースタンバイ」の場合 "PON" コマンド以外の動作は保証されません。また "PON" コマンドは応答を返しません。
- モニター ID が一致するコマンドのみ動作させることができます。書式は (Type1) AD94;RAD:<XXX>; (Type2) RAD:<XXX>; <XXX> はモニター ID 001 から 100 または 000 となります。000 は、全てのモニターへの一斉送信コマンド (ID all コマンド) です。
- シリアルデジチェーンで使用する場合は、モニター ID を全てのディスプレイで重複しないように設定してください。そして、ID 付きコマンドを使用してください。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。または、以下のサポートサイトをご参照ください
業務用ディスプレイ【まかせなサイト】
<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/>

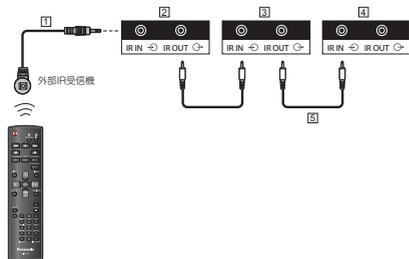
- ビデオウォールマネージャーについて
本機は、1台のコンピュータから接続ケーブルをつなぎ換えること無く、複数のディスプレイを個別または同時に調整するソフトウェア「ビデオウォールマネージャー」に対応しています。
- 詳細は下記の WEB サイトを参照してください
<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/download/software/index.html>

IR 端子の接続

IR IN 端子に付属の外部 IR 受信機を接続してリモコン信号を受け取ることができます。

お知らせ

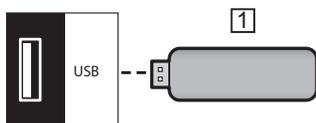
- 外部 IR 受信機は本機に付属しています。
- 本機を制御中に、IR IN 端子に外部 IR 受信機または IR ケーブルを接続すると、本端子のみでの制御に切り換わります。



- ① 外部 IR 受信機 (付属品)
- ② 1 番目のディスプレイ
- ③ 2 番目のディスプレイ
- ④ 3 番目のディスプレイ
- ⑤ IR デイジーチェーンケーブル (付属品)

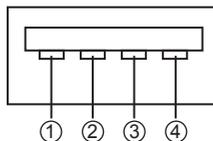
USB 端子の接続例

USB メモリーを接続して USB メディアプレーヤー機能を使用することができます。



- ① USB メモリー

USB 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	+5 V DC
②	DATA -
③	DATA +
④	GND (アース)

お願い

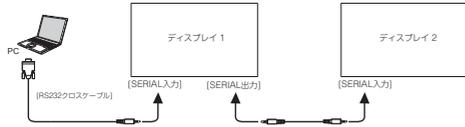
- スティック PC などのサイズにより、本機に直接接続できない場合は市販の延長ケーブルをご使用ください。
- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。市販の延長ケーブルをご使用、または本機に接続可能な小型タイプの USB メモリーをご使用ください。
- USB メモリーによっては、アクセスしていない状態でも、アクセスランプが点滅したままになる場合があります。その場合は、入力を USB 以外に切り換え後に取り外してください。

デジチェーン構成で複数のディスプレイを接続する

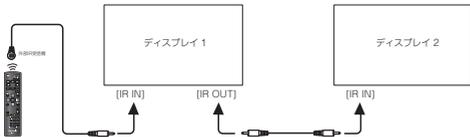
マルチ画面などで映像を映したり制御する場合に、本機を複数台デジチェーン接続（数珠つなぎ）することができます。

ディスプレイコントロール接続

ディスプレイ 1 の [SERIAL 出力] コネクタをディスプレイ 2 の [SERIAL 入力] コネクタに接続します。

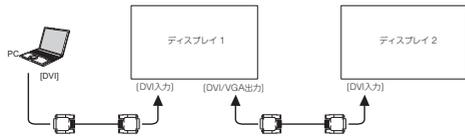


ディスプレイ 1 の [IR OUT] コネクタをディスプレイ 2 の [IR IN] コネクタに接続します。

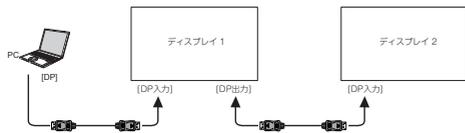


デジタルビデオ接続

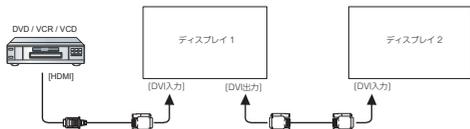
ディスプレイ 1 の [DVI 出力 (VGA 出力)] コネクタをディスプレイ 2 の [DVI 入力] コネクタに接続します。



ディスプレイ 1 の [DP 出力] コネクタをディスプレイ 2 の [DP 入力] コネクタに接続します。

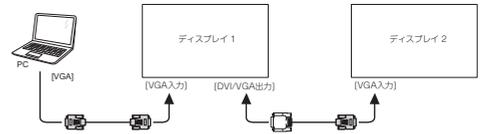


ディスプレイ 1 の [DVI 出力] コネクタをディスプレイ 2 の [DVI 入力] コネクタに接続します。



アナログビデオ接続

ディスプレイ 1 の [DVI 出力 (VGA 出力)] コネクタをディスプレイ 2 の [VGA 入力] コネクタに接続します。



基本の操作

1. 電源コードをディスプレイに接続する。
2. 電源プラグをコンセントへ接続する。
(AC 100V 50Hz/60Hz)

お願い

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
3. 本体の主電源スイッチ (○/|) を「入 (|)」にする。
 4. リモコンまたは本体の電源ボタンで「切」「入」する。

入力信号を切り換える

1. リモコンの <SOURCE> ボタンを押します。
2. リモコンの <▲><▼> ボタンを押して、入力を選択し <ENTER> ボタンを押す

映像に合わせた拡大画面にする

1. リモコンの <FORMAT> ボタンを押します。

お知らせ

- 入力信号に対して、使用可能な画面モードは異なります。
2. リモコンの <▲><▲> ボタンを押して、ピクチャーフォーマットを選択し、<ENTER> ボタンを押す。
- {オートズーム}: 信号のアスペクト比を変更せずに、画面いっぱいに表示します。
 - {ズーム}: 4:3 信号を 16:9 画面に拡大します。
 - {ワイドスクリーン}: 全ての映像を画面いっぱいに表示します。
 - {スケーリング無}: 映像をスケーリングせずに表示します。
 - {4:3}: 映像を 4:3 表示します。

画質設定を切り換える

1. 映像が表示されている時に、リモコンの <ADJUST> ボタンを押す。
 2. リモコンの <◀><▶> ボタンを押して、ピクチャースタイルを選択し、<ENTER> ボタンを押す。
 3. リモコンの <▲><▼> ボタンを押して、映像メニューを選択し <ENTER> ボタンを押す。
- {パーソナル}: 各項目を個別に設定した設定を適用します。
 - {鮮明}: より鮮明でくっきりとした映像になります。
 - {自然}: 色の再現性を重視した自然な色合いの映像になります。

- {標準}: 原画を忠実に再現した映像になります。初期設定は、この設定になります。
- {ムービー}: 映画鑑賞向けの映像になります。
- {フォト}: 写真鑑賞向けの映像になります。
- {省エネ}: 低消費電力向けの映像になります。

お知らせ

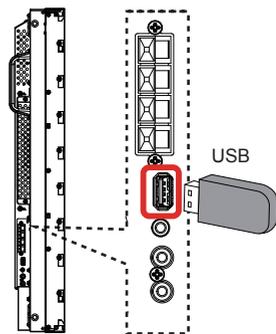
- DVI および PC 入力選択時は表示されません。

音質設定を切り換える

1. 映像が表示されている時に、リモコンの <ADJUST> ボタンを押す。
 2. リモコンの <◀><▶> ボタンを押して、サウンドスタイルを選択し、<ENTER> ボタンを押す。
 3. リモコンの <▲><▼> ボタンを押して、音声メニューを選択し <ENTER> ボタンを押す。
- {パーソナル}: 各項目を個別に設定した設定を適用します。
 - {オリジナル}: 送られてくるそのままの音で聞きます。
 - {ムービー}: 映画鑑賞向けの音声になります。
 - {音楽}: 音楽鑑賞向けの音声になります。
 - {ゲーム}: ゲーム向けの音声になります。
 - {ニュース}: 人の声を聞きやすくした音声になります。

USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する

1. 本製品の USB ポートに USB デバイスを接続します。



2. リモコンの <SOURCE> ボタンを押して、{USB} を選択し <ENTER> ボタンを押します。

お知らせ

- USB 入力選択時にメニューを表示すると、ひとつ前の入力選択に戻ります。

USB

HDMI 1

HDMI 2

Display Port

DVI-D

COMPONENT

VIDEO

PC

3. ファイルタイプが自動検出され、Music / Movie/Photo に分けられ表示されます。
4. リモコンの <◀><▶> を押して、再生したいファイルタイプを選択し、<ENTER> ボタンを押します。
5. リモコンの <▲><▼> を押して、再生したいファイルを選択し、<ENTER> ボタンを押します。
 - メニューの最上層に戻るには、リモコンの <RETURN> ボタンを押す。
6. 必要な場合は、画面の説明に従い設定を行います。
7. {再生} ボタンを押して再生します。

音楽ファイルの再生

1. ファイルタイプメニューを表示し、リモコンの <◀><▶> を押して、{Music(音楽)} を選択し、<ENTER> ボタンを押します。



2. 再生したいファイルを選択し、<ENTER> ボタンを押す。
 - すべての曲を再生したい場合は、ひとつのファイルを選択した後にリモコンの <赤> ボタンを押す。
 - 次の曲または前の曲を選択したい時は、<▲> または <▼> を押す。
 - 曲を一時停止したい時は、<ENTER> ボタンを押す。再び再生したい時は、再度 <ENTER> ボタンを押す。
 - 曲の前後 10 秒スキップしたい時は、<◀><▶> ボタンを押す。
 - 順方向または逆方向に早送り再生をしたい時は、<◀◀> または <▶▶> ボタンを押す。再生速度を変更したい時は、それぞれのボタンを繰り返して押す。
 - 曲を停止したい時は、<■> ボタンを押す。

音楽オプション

音楽ファイルの再生中に、{オプション} ボタンを選択し、<ENTER> ボタンを押す。

- {Shuffle(シャッフル)} : 曲のランダム再生の有効/無効を選択する。
- {Repeat(リピート)} : 曲またはアルバムを繰り返して再生する。"
- {Play once(1 回のみ再生)} : 一回だけ再生する。

お知らせ

- 曲の情報(曲名、アーティスト名、長さ等)を表示するには、表示したい曲を選択し、[情報] ボタンを押す。表示を消す時は、再び[情報] ボタンを押します。

ムービーファイルの再生

1. ファイルタイプメニューを表示し、リモコンの <◀><▶> を押して、{Movie(ムービー)} を選択し、<ENTER> ボタンを押します。



2. 再生したいファイルを選択し、<ENTER> ボタンを押す。
 - すべてのムービーを再生したい場合は、ひとつのファイルを選択した後にリモコンの <赤> ボタンを押す。
 - ムービーを一時停止したい時は、<ENTER> ボタンを押す。再び再生したい時は、再度 <ENTER> ボタンを押す。
 - ムービーの前後 10 秒スキップしたい時は、<◀><▶> ボタンを押す。
 - 順方向または逆方向に早送り再生をしたい時は、<◀◀> または <▶▶> ボタンを押す。再生速度を変更したい時は、それぞれのボタンを繰り返して押す。
 - ムービーを停止したい時は、<■> ボタンを押す。

ムービーオプション

ムービーファイルの再生中に、{オプション} ボタンを選択し、<ENTER> ボタンを押す。

- {Subtitles(字幕)} : 対応しているファイルの場合、字幕表示を設定する。
- {Subtitle Language(字幕言語)} : 対応しているファイルの場合、字幕言語を設定する。
- {Shuffle(シャッフル)} : ムービーのランダム再生の有効/無効を選択する。
- {Repeat(リピート)} : {Repeat(リピート)}: ムービーを繰り返して再生する。 {Play once(1 回のみ再生)} : 一回だけ再生する。
- {Status(ステータス)} : ムービー情報(再生位置、長さ、タイトル、日付等)を表示する。

フォトファイルの再生

1. ファイルタイプメニューを表示し、リモコンの <◀><▶> を押し、{Photo(フォト)} を選択し、<ENTER> ボタンを押します。



2. 表示したいファイルを選択し、<ENTER> ボタンを押す。

スライドショーの開始

フォルダ内に複数の写真がある場合は、最初に表示したいファイルを選択した後、リモコンの <赤> ボタンを押す。

- 前後の写真を選択したい時は、<◀><▶> ボタンを押した後、<ENTER> ボタンを押す。
- スライドショーを停止したい時は、<■> ボタンを押す。

スライドショーオプション

スライドショーの再生中に、{オプション} ボタンを選択し、<ENTER> ボタンを押す。

- {Shuffle(シャッフル)} :
フォトのランダム再生の有効/無効を選択する。
- {Repeat(リピート)} :
{Repeat(リピート)} : スライドショーを繰り返して再生する。
{Play once(1 回のみ再生)} : 一回だけ再生する。
- {Slideshow Time(スライドショー時間)} :
スライドショーで表示するフォトの表示時間を設定する。
- {Slideshow Transition(スライドショートランジション)} :
フォトの切り替わり方法を設定する。

機能設定

各機能の設定を変更するには、リモコンまたは本機のコントロールパネルで行います。

リモコンの場合



1. リモコンの <MENU> ボタンを押す。
2. リモコンの <▲><▼><◀><▶> ボタンを押し、各項目を選択し、<ENTER> ボタンを押す。
3. リモコンの <▲><▼><◀><▶> ボタンを押し、各メニューまたは値を設定し、<ENTER> ボタンを押す。
4. ひとつ前のメニューに戻る時は、<RETURN> ボタンを押す。
5. メニュー表示を消す場合は、<MENU> ボタンを押す。

本機のコントロールパネルの場合

1. コントロールパネルの <MENU> ボタンを押す。
2. <▲><▼><+><-> ボタンを押し、各項目を選択、設定し、<INPUT> ボタンを押す。
3. メニュー表示を消す場合は、<MENU> ボタンを押す。

ピクチャー

ピクチャー	ピクチャースタイル	
サウンド	スタイルを復元する	
タイトル	バックライト	
一般設定	色	
ネットワーク設定	シャープネス	
	ノイズ除去	
	MPEGアーティファク...	
	デジタルクリスタル...	
	アドバンスド	
	ゲームまたはコンピ...	
	フォーマットとエッジ	

ピクチャースタイル

画質を選択します。

スタイルを復元する

初期値に戻ります。

バックライト

バックライトの明るさを調整します。

色

色の濃さを調整します。

シャープネス

画像の鮮鋭度を調整します。

ノイズ除去

映像のノイズ（ざらつき感）を低減します。

MPEG アーティファクトリダクション

MPEG 映像に特有なノイズを低減します。

デジタルクリスタルクリア

隣接画素との差を目立たなくするように、鮮明で高解像度な画像にします。

- {アドバンスドシャープネス}:
映像の境界部に対する補正を行います。
- {ダイナミックコントラスト}:
動画など変化していく映像に対して、色の使い方を判断してコントラストを自動的に補正します。"
- {色強調}:
色を強調して表示します。

アドバンスド（拡張メニュー）

映像の詳細項目を設定します。

- {ガンマ}:
明るさ感を調整します。
- {色あい}:
画面の色調を調整します。
- {カスタム色あい}:
色調を RGB 個々に調整します。
{色あい}が「カスタム」になっている場合に表示されます。
- {映像のコントラスト}:
映像の明暗度を調整します。
- {明るさ}:
パネルの明るさを調整します。
- {色相}:
パネルの色あいを調整します。

ゲームまたはコンピュータ

接続したゲーム機からのコンテンツを表示する場合は、「ゲーム」を選択してゲーム設定を適用します。HDMI を経由してコンピュータが接続されている場合は、「コンピュータ」を選択します。

HDMI 入力レンジ

HDMI 入力のレンジを変更します。

HDMI1、HDMI2、DisplayPort に対してのみ有効です。

フォーマットとエッジ

- {ピクチャーフォーマット}:
ピクチャーフォーマットを変更します。

● インพุットレゾリューション

PC 入力時に、次の信号が入力された時に表示されます。1366x768@60Hz, 1360x768@60Hz, 1280x768@60Hz, 1024x768@60Hz または 1400x1050@60Hz, 1680x1050@60Hz

画角や解像度の表示状態によっては、より適切で見やすい表示になるように、入力信号に合わせて設定を切り換えてください。

お知らせ

- DVI 入力および PC 入力、またはその他の端子に PC 信号が入力された場合、表示しない項目があります。

サウンド

ピクチャー	サウンドスタイル	
サウンド	スタイルを復元する	
タイトル	バス	
一般設定	トレブル	
ネットワーク設定	バランス	
	サラウンドモード	
	音声出力	
	アドバンスド	

サウンドスタイル

音質を選択します。

スタイルを復元する

初期値に戻ります。

バス

低音を調整します。

トレブル

高音を調整します。

バランス

左右の音量を調整します。

サラウンドモード

臨場感のある音質に設定します。

音声出力

AUDIO OUT 端子に出力される音量を調整します。

アドバンスド (拡張メニュー)

音声の詳細項目を設定します。

- {自動音量レベル}: 急激な音量変化を抑えます。
- {クリアサウンド}: 音質を向上させます。
- {スピーカ設定}: 外部スピーカへの出力をオン/オフします。

タイトル

ピクチャー	有効	
サウンド	Hモニター	
タイトル	Vモニター	
一般設定	ポジション	
ネットワーク設定	フレーム補正	

最大 100 台のディスプレイ (縦方向は 10 台まで、横方向は 10 台まで) を 1 つのグループとして、拡大した映像を映します。

お知らせ

- 4K 信号を入力した場合は、最大 25 台のディスプレイ (縦方向は 5 台まで、横方向は 5 台まで) となります。
- USB 入力の場合は、本機能は動作しません。

有効

タイトル機能のオン/オフを選択します。

「オン」にした時は、「Hモニター」「Vモニター」「ポジション」の設定値が適用されます。

Hモニター

横方向のディスプレイ数を設定します。

Vモニター

縦方向のディスプレイ数を設定します。

ポジション

マルチ画面の画面位置を割り当てます。

例: 5x5 の画面マトリックス (ディスプレイ 25 台)

Hモニター = 5 x ディスプレイ

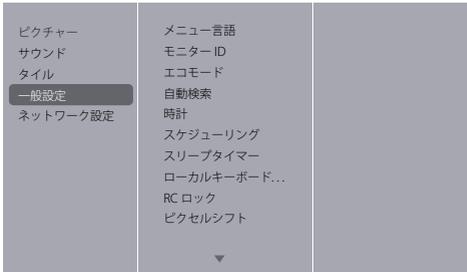
Vモニター = 5 x ディスプレイ

	Hモニター					
	1	2	3	4	5	ポジション
	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	
Vモニター	21	22	23	24	25	

フレーム補正

目地部分に隠れる映像の領域を調整できるようにします。

一般設定



メニュー言語

メニューで表示する言語を選択します。

モニター ID

複数台のディスプレイ本体を近接した場所で使用する場合、シリアルやリモコンでディスプレイ本体を個別に操作できるようにするための ID 番号を割り当てます。設定範囲は 1～255 です。初期設定は 1 です。

エコモード

消費電力を低減するための各種設定を行います。

お知らせ

- シリアル制御、PJLink 制御を使用するときは、「ノーマル」に設定してください。
- 予兆監視ソフトウェア、複数台制御ソフトウェアまたはビデオウォールマネージャーを使用するときは、「ノーマル」に設定してください。

自動検索

本機に入力されている信号を自動で検出して切り換えて表示します。

- {オフ}: 自動検索を行いません。
- {オン}: 全入力を検索を行います。
- {フェイルオーバー}: 選択した入力を検索します。

お知らせ

- フェイルオーバーで USB auto play を選択する場合、USB メモリーの一番上の階層に、autoplay という名称のフォルダを作成し、その下にムービーファイルまたはフォトファイルを置いてください。

時計

日付と時刻を設定します。

スケジューリング

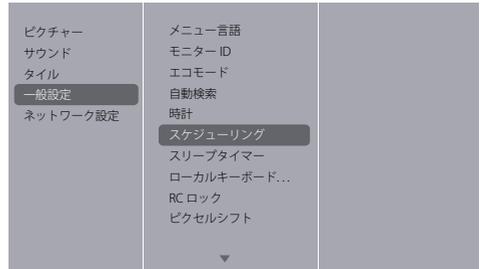
指定した時刻に本機の動作を制御するプログラムを設定します。

スケジューリングは 7 通り設定でき、以下の制御ができます。

- 入力信号の設定
- 本機の電源「入」「切」時間
- 本機が動作する曜日

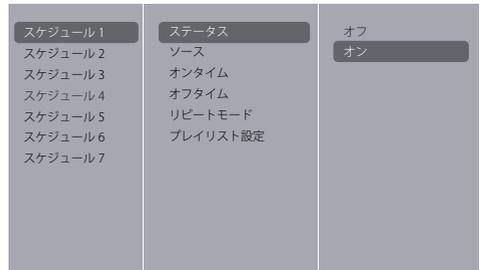
お願い

- この機能を使用する場合は、{時計}メニューで日付と時刻の設定を必ず行ってください。
- {時計}メニューで日付と時刻を設定した後に、本機能の設定を行ってください。

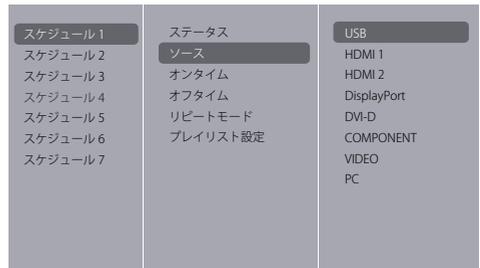


1. スケジュール番号を選択し、リモコンの <ENTER> ボタンを押します。
2. 各項目の設定を行います。

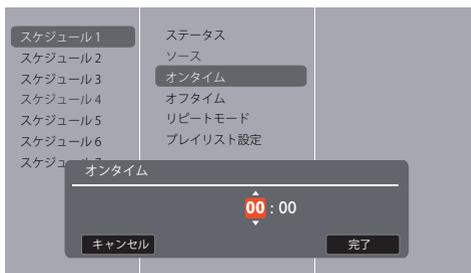
- {ステータス} プログラムの有効/無効を行います。



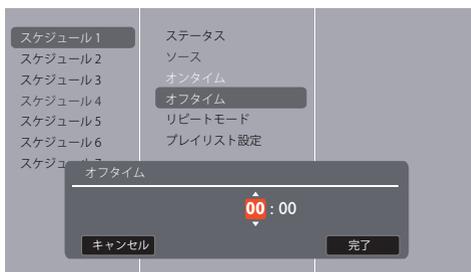
- {ソース} プログラムを実行する時の入力を設定します。



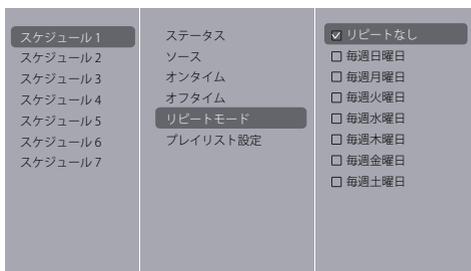
- {オンタイム} 電源が「入」になる時間を設定します。



- {オフタイム} 電源が「切」になる時間を設定します。



- {リピートモード} プログラムが実行される曜日を設定します。毎日実行する場合は、全ての曜日を選択します。

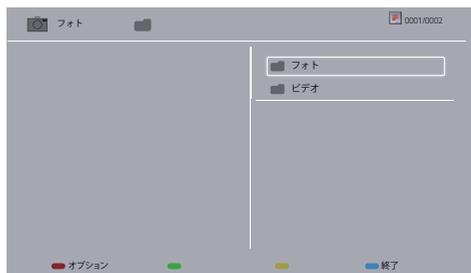


3. {ソース}で「USB」を選択した場合は、{プレイリスト設定}で使用ファイルの選択を行います。

お願い

本メニューを選択する前に、必ず USB デバイスを装着してください。

- リモコンの <▲><▼> ボタンを押してファイルを選択します。
- リモコンの <◀><▶> ボタンを押して、プレイリストとファイルマネージャーを切り換えます。
- <ENTER> ボタンを押して、プレイリストの設定または消去を行います。
- プレイリストを保存するには、リモコンの <赤> ボタンを押して、「リストを保存する」を選択します。



お知らせ

- それぞれのプレイリストには、最大 30 ファイルまで登録できません。

スリープタイマー

指定した時間に本機の電源をオフします。

自動調整

水平位置 / 垂直位置 / 水平サイズ / 垂直サイズ / ドットクロック / クロック位相を自動補正します。

お知らせ

- PC 入力信号時のみ有効です。

ローカルキーボードロック

本機のコントロールパネルの操作を制限します。

- {アンロック}: コントロールパネル操作全て有効にします。
- {すべてロックする}: コントロールパネル操作全て無効にします。
- {音量を除いてロックする}: <-><+> ボタン以外の操作を無効にします。
- {電源を除いてロックする}: 電源ボタン以外の操作を無効にします。
- {音量および電源を除いてロックする}: <-><+> および電源ボタン以外の操作を無効にします。

お知らせ

ロックを解除するには、リモコンの <MENU> ボタンを押した後、<1><9><9><8> を押す。

RCロック

リモコンボタンの操作を制限します。

- {アンロック}:
リモコンボタンの操作全て有効にします。
- {すべてロックする}:
リモコンボタンの操作全て無効にします。
- {音量を除いてロックする}:
<-><+> ボタン以外の操作を無効にします。
- {電源を除いてロックする}:
電源ボタン以外の操作を無効にします。
- {音量および電源を除いてロックする}:
<-><+> および電源ボタン以外の操作を無効にします。

お知らせ

ロックを解除するには、リモコンの <MENU> ボタンを押した後、<1><9><9><8> を押す。

ピクセルシフト

「オン」にすると、画面表示後 30 秒間、本機の操作をしない場合、ディスプレイの焼き付き軽減のために、画面位置を移動させて表示します。

スマートパワー

動画電力消費または画質を最適にした明るさ補正を行います。

- {オフ}: 補正を行いません。
- {標準}: 補正を行います。{ピクチャー} で設定した値が有効になります。
- {ベストパワー}: 低消費電力を優先した補正を行います。
- {ベストピクチャー}: 画質を優先した補正を行います。

ウェイクオン LAN

「オン」にすると、ネットワーク経由で本機の電源をオンする事ができます。

電源オン

本機の主電源スイッチを入れた時の動作を設定します。

- {オン}: 常に電源をオンします。
- {スタンバイ}: 常に電源をスタンバイにします。
- {ラストステータス}: 主電源をオフした時の状態にします。

LED

本機の LED 表示をオン/オフします。

パワーオンディレイ

時間 (秒) を設定すると、電源を「入」にした時、ID 番号に乗じた時間後に本機の電源が入ります。設定しない場合は、0 を入力してください。

APM

「オン」にすると、入力信号が無い場合、自動的に電

源がオフします。

情報

「オン」にすると、電源オン時または入力を切り換えた際に

画面左上にディスプレイの入力状態を表示します。

表示させたくない場合は、「オフ」にします。

DisplayPortVer

Display Port の対応バージョンを設定します。

- {1.1a}: 通常はこの設定でご使用ください。
- {1.2}: Display Port の MST (マルチストリーム伝送) モードを使用する場合のみ設定してください。

冷却ファン

本機に取り付けているファンの設定を行います。

- {オン}: 電源が入っている状態では、常にファンは作動します。
- {オフ}: 電源が入っている状態では、常にファンは停止します。
- {AUTO}: 本機の温度状態でファンの動作が制御します。
本機の温度が 60°C を超えるとファンが作動します。

Serial response (ID all)

「オン」を選択すると、シリアルコマンドで ID all(ID:000) を受信した時に、応答を返します。

お知らせ

- ID:000 は、全てのモニターへの一斉送信コマンド (ID all コマンド) です。

工場出荷時設定

カスタマイズされた全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。

お知らせ

メニュー言語、モニター ID、エコモードはリセットされません。

ネットワーク設定



ネットワーク設定を表示する

接続しているネットワークの状態を表示します。

ネットワーク設定

本製品のネットワークリソースへのアドレスの割り当て方法を選択します。「DHCP および自動 IP」(推奨) または「スタティック IP」を選択できます。

スタティック IP 設定

{ネットワーク設定} で「スタティック IP」を選択した場合は、この項目で「IP アドレス」「ネットマスク」「ゲートウェイ」「DNS」を設定します。

ネットワーク名

複数のディスプレイが接続されている場合、各ディスプレイの名前を変更して識別しやすくなります。画面に表示されるキーボードまたはリモコンのキーボタンで登録します。

PJLink password

PJLink セキュリティー認証のためのパスワードを設定します。

お知らせ

- メニュー画面を非表示にした状態で、リモコン <▲> <> <▶> <▼> << <◀> <> <RETURN> ボタンを押すと表示されます。
- {Current password}、{New password}、{New password(Retype)} の順に入力します。
- それぞれのメニューのパスワード入力欄でリモコンの <ENTER> を押すと、入力用のオンスクリーンキーボード画面が表示されます。
- パスワードの詳細は、「PJLink プロトコル」を参照してください。(39 ページ)

ネットワーク機能を使う

本機はネットワーク機能を備えており、ネットワークに接続されたディスプレイをパソコンで制御することができます。

接続に必要なパソコン環境

はじめに、お使いのパソコンに LAN 機能が装備されているかどうかご確認ください。
ディスプレイとパソコンを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。

チェック 1: LAN ケーブルについて

- ・ ケーブルを正しく接続してください。
- ・ LAN ケーブルは、EMC 規格に準拠したカテゴリー 5 に対応したものを使用してください。

チェック 2: 有線 LAN の設定

有線 LAN 機能が内蔵されているパソコン

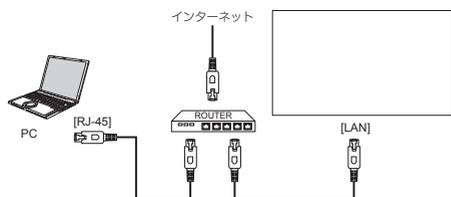
- ・ 有線 LAN を有効にしてください。

有線 LAN 機能が内蔵されていないパソコン

- ・ 有線 LAN アダプターが正しく認識され、有効になっていることを確認してください。
- ・ 事前に有線 LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、有線 LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

ネットワーク接続例

LAN 端子接続



1. リモコンの <MENU> ボタンを押し、{ネットワーク設定} を選択し、<ENTER> ボタンを押す。
2. ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う。

お知らせ

- LAN ケーブルにはシールドケーブルをご使用ください。シールドケーブルをご使用にならない場合、映像にノイズが発生することがあります。
- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T/100BASE-TX に対応していることをご確認ください。

- 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- 接続方法についてはネットワーク管理者にご相談ください。

パソコンの操作

1. パソコンの電源をオンにする。
2. ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う。

お知らせ

ディスプレイは、工場出荷時、あらかじめ下記の設定をされています。

ネットワーク設定：スタティック IP

スタティック IP 設定

IP アドレス：192.168.0.8

ネットマスク：255.255.255.0

ゲートウェイ：192.168.0.1

パソコン側の設定は、下記の設定でお使い頂けます。

異なる場合は、ネットワーク管理者の指示に従って設定してください。

IP アドレス	192.168.0.9
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1

PJLink プロトコル

本機のネットワーク機能は PJLink クラス 1 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- ディスプレイの設定
- ディスプレイの状態問い合わせ

お知らせ

- PJLink 制御を使用する場合は、{一般設定}-{エコモード}を「ノーマル」に設定してください。
- 予兆監視ソフトウェア / 複数台制御ソフトウェアを使用する場合は、{一般設定}-{エコモード}を「ノーマル」に設定してください。

対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容
POWER	電源制御 0: スタンバイ 1: 電源「入」
POWER?	電源状態問い合わせ 0: スタンバイ 1: 電源「入」

INPT	入力切換 11: PC IN 入力 (PC) 21: COMPONENT 入力 (COMPONENT) 22: VIDEO 入力 (VIDEO) 31: HDMI1 入力 (HDMI1) 32: HDMI2 入力 (HDMI2) 33: Display Port IN 入力 (DisplayPort) 34: DVI-D IN 入力 (DVI-D) 41: USB 入力 (USB)
INPT?	入力切換問い合わせ 11: PC IN 入力 (PC) 21: COMPONENT 入力 (COMPONENT) 22: VIDEO 入力 (VIDEO) 31: HDMI1 入力 (HDMI1) 32: HDMI2 入力 (HDMI2) 33: Display Port IN 入力 (DisplayPort) 34: DVI-D IN 入力 (DVI-D) 41: USB 入力 (USB)
AVMT	シャッター制御 10: 映像オン (映像ミュート解除) 11: 映像オフ (映像ミュート) 20: 音声オン (音声ミュート解除) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
AVMT?	シャッター制御問い合わせ 11: 映像オフ (映像ミュート) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
ERST?	エラー状態問い合わせ 1 バイト目: 0 2 バイト目: 0 3 バイト目: 温度エラーを意味し、 0、1 または 2 のいずれか ・ 0、1、2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない 1 = ワーニング 2 = エラー 4 バイト目: 0 5 バイト目: 0 6 バイト目: 0
LAMP?	ランプ状態問い合わせ 非対応です。

INST?	入力切換一覧問い合わせ 11: PC IN 入力 (PC) 21: COMPONENT 入力 (COMPONENT) 22: VIDEO 入力 (VIDEO) 31: HDMI1 入力 (HDMI1) 32: HDMI2 入力 (HDMI2) 33: Display Port IN 入力 (DisplayPort) 34: DVI-D IN 入力 (DVI-D) 41: USB 入力 (USB)
NAME?	ディスプレイ名問い合わせ。 ネットワーク設定のネットワーク名の内容を を応答します。
INF1?	メーカー名問い合わせ "Panasonic" と応答します。
INF2?	機種名問い合わせ 49LFV8 の場合は、"49LFV8"、55LFV8 の場合は、"55LFV8" と応答します。
INFO?	その他情報問い合わせ バージョン番号を応答します。
CLSS?	クラス情報問い合わせ "1" と応答します。

お知らせ

通信時のエラー応答は下表を参照してください。

エラーメッセージ	
"ERR1"	未定義の制御コマンド
"ERR2"	パラメータ範囲外
"ERR3"	ビジー状態または受付不可期間
"ERR4"	ディスプレイ異常

PJLink セキュリティー認証のパスワードについて
PJLink セキュリティー認証のためにパスワードを使用します。

- 出荷時のパスワードは以下の通りです。

@Panasonic

最初にパスワードを変更してください。

- パスワードは、{ネットワーク設定} - {PJLink password} で変更できます。
- {工場出荷時設定} を実行した時は、パスワードは初期値に戻ります。
- パスワードで使用できる文字数は、16 文字以内です。
パスワード変更の推奨は、以下の通りです。
下記の 4 つの文字種類から少なくとも 3 つを含めて、
8 文字以上。
1) アルファベット大文字 (A - Z)
2) アルファベット小文字 (a - z)
3) 数字 (0 - 9)
4) 特殊文字 (!@#\$% 等)
- 認証なしで使用する時は、パスワードはなし (空欄) にします。
- パスワードが次の場合、警告メッセージを表示します。
1) 推奨するパスワード条件を満たさない場合

- 2) 出荷時のパスワードのままの場合
- 3) 変更前と変更後が同じ場合
- 4) なし（空欄）の場合

お知らせ

- 変更後のパスワードに、現在のパスワードと同じ値、または出荷時の設定と同じ値にしないことを推奨します。
- PJLink に関する仕様については、(社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。
URL <http://pjlinkjbma.or.jp/>
- パナソニック株式会社および関連会社が、お客様へ直接パスワードを紹介することはありません。
直接問い合わせがありましても、お答えにならないでください。

予兆監視ソフトウェアについて

本機は、イントラネット内にある機材（プロジェクターやディスプレイ）の状態を監視し、機材の異常の通知や異常発生の予兆を検知するソフトウェア「予兆監視ソフトウェア」に対応しています。

ライセンスの種類によって監視できる機材の登録台数が異なります。コンピュータへのインストール後 90 日間に限り、無料で最大 2048 台の機材を登録してご使用いただけます。

- ・ 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/products/swa100/index.html>

複数台監視制御ソフトウェアについて

本機は、イントラネット内にある機材（プロジェクターやディスプレイ）に対して、監視および制御を行うソフトウェア「複数台監視制御ソフトウェア」(Multi Monitoring & Control Software) に対応しています。

- ・ 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/download/software/index.html>

USB デバイス対応ファイル

動画対応フォーマット（言語字幕含む）

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	最大フレーム率 (fps)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mpg mpeg .vob	PS	MPEG-1	1920x1080	25p,30p,50i,60i	30	MPEG-1(L1&L2),
		MPEG-2	1920x1080	25p,30p,50i,60i	30	MPEG-1,2,2.5 L3,
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p,30p,50i,60i	30	AAC/HE-
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p,60i	30	AAC(v1&v2), DVD-PCM,AC3
.ts	TS	MPEG-2	1920x1080	25p,30p,50i,60i	30	MPEG-1(L1&L2), MPEG-1,2,2.5 L3, AAC/HE-AAC (v1&v2), AC3,E-AC3, Dolby Pulse
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p,30p,50i,60i	30	
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p,60i	30	
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p@frame rate=50、60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts .mt2	MaTS TTS	MPEG-2	1920x1080	25p,30p,50i,60i	30	MPEG-1(L1&L2), MPEG-1,2,2.5 L3, AAC/HE-AAC (v1&v2), AC3,E-AC3, Dolby Pulse
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p,30p,50i,60i	30	
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p,60i	30	
		MVC	1920x1080i @ field rate=50、60Hz 1920x1080p @ frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MPEG-2	1920x1080	25p,30p,50i,60i	30	MPEG-1(L1&L2), MPEG-1,2,2.5 L3, AAC/HE-AAC (v1&v2), AC3,E-AC3, Dolby Pulse
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p,30p,50i,60i	30	
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p,60i	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	MPEG-1(L1&L2), MPEG-1,2,2.5 L3, AAC/HE-AAC (v1&v2), AC3,E-AC3, Dolby Pulse
.m4v	M4V	H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p,60i	30	AAC
.ism/ Manifest .mpd	frag MP4	H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p,60i	30	AAC/HE- AAC(v1&v2), AC3,E-AC3,WMA, WMA-PRO
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	

.mp4	MP4	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p,30p,50i,60i	30	AAC/HE-AAC(v1&v2), AC3,E-AC3,WMA, WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	
		WMV9/VC1	1920x1080	30p,60i	30	
.mkv .mk3d	MKV	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p,30p,50i,60i	30	MPEG-1(L1&L2), MPEG-1,2,2.5 L3, AAC/HE-AAC (v1&v2), AC3,E-AC3, WMA, WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	

静止画対応フォーマット

ファイル拡張子	ファイルフォーマット	最大解像度
jpg/ipeg	JPEG	カラーモード 444 : 32768 x 16128 以下 カラーモード 422 : 16384 x 16128 以下 上記以外のカラーモード : 未対応
bmp	BMP	4096 x 3072 / 4bit
png	PNG	2730 x 2500 / 8bit
gif	GIF	2048 x 1536 / 16bit 1500 x 1200 / 32bit

音声対応フォーマット

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	周波数 (kHz)	最大ビットレート (kbps)	オーディオコーデック
.mp3	MP3	-	-	48	384	MPEG-1,2,2.5 L3
.wma .asf	WMA (V2、最大 V9.2)	-	-	48	192	WMA
.wma	WMA Pro	-	-	96	768	WMA,WMA Pro
.wav(PC)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aif(mac) .aiff(mac)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aac .mp4 .m4a	AAC	-	-	48	1024	AAC,HE-AAC(v1&v2)
.pls .m3u	Playlists	-	-	-	-	-
.m4a	M4A	-	-	48	1024	AAC,HE-AAC(v1&v2)

お知らせ

- 対応フォーマットに対してビットレートまたはフレームレートが異なるコンテンツは、再生しないまたは途切れて再生する場合があります。

入力モード

VGA 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
VGA	640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3	ビデオグラフィックアレイ
			72 Hz	31.5 MHz		
			75 Hz	31.5 MHz		
WVGA	720	400	70 Hz	33.75 MHz	16:9	ワイドビデオグラフィックアレイ
SVGA	800	600	60 Hz	40 MHz	4:3	スーパー VGA
			75 Hz	49.5 MHz		
XGA	1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3	拡張グラフィックアレイ
			75 Hz	78.75 MHz		
WXGA	1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3	ワイド XGA
WXGA	1280	800	60 Hz	79.5 MHz	16:10	ワイド XGA
SXGA	1280	1024	60 Hz	108 MHz	5:4	スーパー XGA
WXGA	1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
WXGA	1366	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
UXGA	1600	1200	60 Hz	162 MHz	4:3	ウルトラ XGA
HD1080	1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9	HD1080

SDTV 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
480i	720	480	29.97 Hz	13.5 MHz	4:3	変更された NTSC 規格
480p			59.94 Hz	27 MHz		
576i	720	480	25 Hz	13.5 MHz	4:3	変更された PAL 規格
576p			50 Hz	27 MHz		

HDTV 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
720p	1280	720	50 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は DVB モード
			60 Hz			
1080i	1920	1080	25 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			30 Hz			
1080p	1920	1080	50 Hz	148.5 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			60 Hz			

4K 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
QFHD	3840	2160	30Hz	297MHz	16:9	-

- PC 入力での最適解像度は、HD1080 モード (1920x1080、60Hz) です。
- お使いの PC を接続した場合、メーカー、Windows バージョンにより異なって表示されることがあります。
- 接続する PC の情報は、PC の取扱説明書をご確認ください。
- 本対応表は、IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ対応入力に基づいています。
- DVI 対応信号は、PC 対応信号と同じです。
- 各モードの最適垂直周波数は、60Hz です。

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。

症状	想定される原因	対処
映像が表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードが抜けています。 2. 本製品の背面にある主電源スイッチが ON になっていません。 3. 選択された入力に接続されていません。 4. ディスプレイがスタンバイモード中です。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードをコンセントに差し込みます。 2. 電源スイッチが ON であることを確認します。 3. 本製品に信号接続を接続します。
本製品で表示される画像が乱れる、または音声にノイズが聞こえる	周囲の電子機器や蛍光灯が原因です。	干渉が少なくなるような別の場所に本製品を移動させます。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていません。	本製品の背面に信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
映像が異常なパターンで歪んでいる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 入力信号が本製品の能力を超えています。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。 2. 本製品の範囲を超えていないか、ビデオ信号ソースを確認します。本製品の仕様のセクションで、仕様を確認してください。
表示画像が画面サイズいっぱいに表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ズームモードが正しく設定されていません。 2. スキャンモードが間違っていてアンダースキャンに設定されています。 3. 画像が画面サイズを超える場合、スキャンモードをアンダースキャンに設定する必要があります。 	画面設定メニューのズームモードまたはカスタムズーム機能を使用して、ディスプレイのジオメトリと周波数パラメータを微調整します。
音声は聞こえるが、映像が表示されない	ソースの信号ケーブルが正しく接続されていません。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。
映像は表示されるが、音が聞こえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソースの信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 音量が一番低く設定されています。 3. {消音} がオンになっている。 4. 外部スピーカーが接続されていません。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。 2. [+] または [-] ボタンを押して音声が聞こえるか確認します。 3. {ミュート} ボタンを使って消音を「オフ」にします。 4. 外部スピーカーを接続し、適切なレベルに音量を調節します。

一部の画素が光らない	本製品の一部の画素は点灯しない場合があります。	本製品は超ハイレベルな精密技術で製造されています。しかし、画面の一部に画素欠けが存在する場合があります。これは故障ではありません。
電源をオフにした後も残像が表示されています。(例：ロゴ、ビデオゲーム、コンピュータ画像、4：3の通常モードで表示された画像を含む静止画像)	静止画像が時間より長く表示されています。	長期間静止画像を表示しないようにしてください。本製品上に永続的な残像が残る原因となるためです。
外部から制御できない	シリアルまたは LAN 端子にケーブルが接続されていない。 ネットワーク設定が正しく設定されていない。	ケーブルが正しく接続されているかを確認します。 正しく設定が行われているかを確認します。

仕様

ディスプレイ：

項目	仕様
画面サイズ (アクティブ領域)	TH-49LFV8: 48.5" (123.2 cm) LCD TH-55LFV8: 54.6" (138.7 cm) LCD
アスペクト比	16:9
画素数	1920 (水平) x 1080 (垂直)
画素ピッチ	TH-49LFV8: 0.559 (横) x 0.559 (縦) [mm] TH-55LFV8: 0.630 (横) x 0.630 (縦) [mm]
明るさ (標準)	TH-49LFV8: 450 cd/m ² TH-55LFV8: 500 cd/m ²
コントラスト比 (標準)	TH-49LFV8: 1300:1 TH-55LFV8: 1400:1
表示角度	178 度

入 / 出力端子：

項目		仕様
スピーカー出力	外部スピーカー	8 Ω、20W[10W + 10W] (10% THD)
音声出力	3.5mm ステレオミニジャック x 1	0.5V [rms] (標準) / 2 チャンネル (左 + 右)
音声入力	ピンジャック x 2 3.5mm ステレオミニジャック x 1	0.5V [rms] (標準) / 2 チャンネル (左 + 右)
シリアル入力 / 出力	2.5mm ステレオミニジャック x 2	シリアル (RS232C 準拠) 入力 / 出力
LAN	RJ-45 ジャック x 1 (8 ピン)	10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI ジャック x 2 (タイプ A) (18 ピン)	デジタル RGB: TMDS (ビデオ + 音声) 最大: 動画 - 720p、1080p、1920 x 1080/60 Hz (WUXGA) 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (左 + 右) LPCM のみサポート
DVI-D 入力	DVI-D ジャック	デジタル RGB: TMDS (ビデオ)
PC 入力	D-Sub ジャック x 1 (15 ピン)	アナログ RGB: 0.7V [p-p] (75 Ω)、H/CS/V: TTL (2.2k Ω)、SOG: 1V [p-p] (75 Ω) 最大: 720p、1080p、1920 x 1080/60 Hz (WUXGA)
DVI-I (DVI-D & PC) 出力	DVI-I ジャック x 1 (29 ピン)	デジタル RGB: TMDS (ビデオ) アナログ RGB: 0.7V [p-p] (75 Ω)、H/CS/V: TTL (2.2k Ω)、SOG: 1V [p-p] (75 Ω) 最大: 720p、1080p、1920 x 1080/60 Hz (WUXGA)

コンポーネント 入力	BNC ジャック x 3	Y: 1V [p-p] (75 Ω)、Pb: 0.7V [p-p] (75 Ω)、Pr: 0.7V [p-p] (75 Ω) 最大 : 480i, 576i, 480p, 576p, 720p, 1080i, 1080p
ビデオ入力	BNC x 1 (Component_Y と共有)	コンポジット 1V [p-p] (75 Ω)
ディスプレイポ ートイン/アウト	ディスプレイポ ート ジャック x 2 (20 ピン)	デジタル RGB: TMDS (ビデオ + 音声) 最大: 動画 - 720p、1080p、1920 x 1080/60 Hz (WUXGA) 3840x2160/30Hz(QFHD) 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (左 + 右) LPCM のみサポート

一般：

項目	仕様
電源	AC 100V ± 10%、50 ~ 60Hz
消費電力 (最大)	TH-49LFV8: 220 W TH-55LFV8: 320 W
消費電力 (スタンバイ / 主電源スイッチ「切」)	0.5W 以下 (RS232 アクティブ) / 約 0W
寸法 [幅 x 高さ x 奥行き] (cm)	TH-49LFV8: 1077.7 x 607.9 x 103.9 TH-55LFV8: 1213.4 x 684.2 x 95.0
重量 (スタンドなし)	TH-49LFV8: 22 Kg TH-55LFV8: 30 Kg

環境条件：

項目	仕様	
温度	動作時	0 ~ 40° C * 海拔 1400m 以上 2800m 未満時は、0° C ~ 35° C。
	保管時	-20 ~ 60° C
湿度	動作時	20 ~ 80% RH (結露なし)
	保管時	5 ~ 95% RH (結露なし)
高度	動作時	0 ~ 2,800 m
	保管時 / 輸送時	0 ~ 9,000 m

商標について

- ・ PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- ・ HDMI(High-Definition Multimedia Interface) および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内のみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



EU



注意

この製品はクラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を引き起こすことがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品 番	
	販売店名	☎() -	お客様ご相談窓口	
		☎() -	☎() -	

パナソニック株式会社
コネクティッドソリューションズ社

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

© Panasonic Corporation 2017

中国印刷